

アマダイ通信NO. 138

(Tile fish network letter)

コロナでも山白く

知人・友人各位

コロナに振り回された行く年はお世話になりました。ワクチンの接種も始まり、来る年が希望の年となるように共に願いたいものです。10年ほどかかったワクチンの製造も1年で済み、はやぶさ2が遠く離れた小惑星りゅうぐうの資料を地球に運び、又何処へと旅立つ快挙。猛威を振うコロナも百年前のスペイン風邪に比べれば、感染率致死率共に各段に少ない。対策はマスクと手洗い、うがい、隔離と余り差はないが、公衆衛生、食生活、医療水準の向上があつてのこと。個人的には介護制度の恩恵を強く感じる。問題山積の人類社会であるが、叡智を集め解決、豊かで平和、自由な未来に向かうことを信じたい、共に！

◎捨ててこそ、浮かぶ瀬もあれ！三島由紀夫と東大全共闘

三島由紀夫は評論「果たし得ていない約束」で、戦後の日本について経済の高度成長の結果、「無機的な、からっぽな、ニュートラルな、中間色の、富裕な、抜け目がない、或経済大国が極東の一角に残るのであろう」と書き、日本は精神的には無内容で、「裕福な経済大国」という以外には特徴のない国になってしまう、と嘆く。「このまま行ったら『日本』はなくなってしまう」とも予言。三島の「果たし得ていない約束」とは、『英霊の聲』(1966年)で呼び出された死者たち一特攻隊員や2.26事件を起こした青年将校一であろう」と、社会学者の大澤真幸は語る（「三島の予想は的中し過ぎた」、てんとう虫2020年11月号）。

「約束を果すということは、三島の観点からは、からっぽな経済大国に精神の充実を与えること。そのための一歩が、あの日市ヶ谷の自衛隊駐屯地で三島がなそうとしたことである」と。どうして、『天皇陛下万歳！』と叫びつつ割腹自殺したことが、そのような意義を持つのか。説明は容易ではない」とも。大澤は、三島の最高傑作『金閣寺』の「主人公の若い僧侶は独特の美学を持っている。『美』のアイデアであるところの金閣寺は、燃やされることによってこそ逆説的に『美』として完成する。この金閣寺が天皇に置き換わる。そして、金閣寺を燃やす代わりに、三島は鍛え抜いた自分の肉体を切り裂いた。三島の小説では一般的に、『火』と『血』は互換的で、同じ意味を担っている」という。

1969年5月18日、駒場900番教室での千余の駒場共闘の学生と三島との対話は全く噛み合わない。全共闘の学生は、日本資本主義の対米従属の度合いの把握に党派で差はあれ、復活しつつある日本帝国主義が、米帝国主義と同盟、アジアを再度侵略するのを、米帝国主義と果敢に戦うベトナムをはじめとしたアジア人民、盛り上がる欧米の学生パワーなど世界の革命勢力と連帯、阻止することで共にアジアと世界の革命に勝利する！という遠大な目標を持つ。

片や特攻隊員や2.26事件を起こした青年将校達との約束、『からっぽな経済大国に精神の充実を与え』、中心に再び『天皇』を置こうとする三島と、噛み合う筈はない。殴り合いになってもおかしくないが、議論は熱く、整然と闘わされる。同窓の先輩、当代一の文豪と先鋭な感覚を持つ無私の、才能ある後輩という、互いに対するリスペクトだけではない。主義・主張はともあれ、互いを理解した上で主張すべきことは主張、主張させた上で優劣は聴く者の判断に委ねる。これぞ民主主義の王道、「知の格闘」。駒場ではクラス討論で、

駒場寮がなくなり、今は通り抜け可能の四つ角と化した三叉路の、活動家がビラを配り、アジ演説する立て看の屏風の前で、日毎熱く繰り返されていた知の格闘の延長。議論によって人の意見が、人間が変わる！交わることのダイナミズム！知の格闘の真骨頂！自らの「言の葉」に責任を持たざるを得ぬ厳しさ。多くの者は生きるため口にチャック、社会の歯車に。中には40歳になるまで市民社会に復帰出来なかった者もいれば、若くして自ら命を絶った仲間、未だに官権に迫られる身も。

1970年11月25日、三島は小さな私設軍隊「盾の会」を率い、市ヶ谷の自衛隊に乗り込み、「日本」のための決起を促し、終には自決。東大全共闘も又、それに先立つこと10ヶ月余、全国の学生から「決死隊」を募り、本郷の安田講堂に籠城する。学生運動としての広がりピークを越え、学年末を前にして、目先の糧を考える学生は運動から離れつつあり、闘いを広げるには労働者のさらなる支援が必要。革命は労働者の参加なくして成就しない。安田砦に籠城、全国の労働者・学生の連帯を訴える、決死の作戦。市ヶ谷の自衛隊での三島の決起と自決も又、それに通ずる。身を捨ててこそ浮かぶ瀬もあれ！

◎6千円のパンツ！おらはおらで、みんなでいぐも！

隔週日曜日、埼玉の小川カントリー、2組、3組と一緒に楽しむ仲間がいて、カートに乗らず一人歩き通す。土曜日は月島の図書館で経済誌を繙き、プールで泳ぐ。ゴルフのない週末、土曜日夕方は自転車で鴨川の江見から館山方面千倉まで、海岸の砂防堤を縫い往復3時間程、日曜朝は鴨川の海岸まで往復2時間程、白波寄せる渚を横目、磯の香りを満喫。方丈の庵で、輝る洋を眼下に、ゆったり活字を追い、情報のインプットも。営業は「会社」や「商品」を売るのも大事だが、自分を「売る」こと。「あの人なら」と言われるよう、人間として、ビジネスマンとして付加価値を高め、プロセスも悦びとして愉しむ。ビジネストークにも生かし、「通信」として情報発信も。初めから意図した訳ではなく、反発もあるがプラスの効果が大。北の山が白く装へば仲間や娘、孫と白銀のゲレンデに身を躍らせ、平日は営業コンサルタントとして東奔西走。クライアントの期待に応え対価を頂く。

40歳で「社会人」になったのだから、20年長く働け！と仲間は言う。「勤め人」は10年だけで年金も少ない。まとまった退職金も貰ったことがなく、ストックも少ない。言われなくとも働かざるを得ない、生涯現役。コロナ感染リスクの少ない野外スポーツで体を鍛え、情報をインプット。付加価値を高め、ネットワークを広げ、クライアントの期待に応え、対価を頂く。長い学生時代に培った、利害の絡まない関係から発展したネットワークは長続き。有難いことに仕事のベースにもなり、色々手助けして頂く。20年間事務所も維持、東大三鷹寮の同窓会の事務局も兼ねる。日々の活動と内なる欲求から発した物好き通信でネットワークも広がり、パブリックな活動にも役立つ。4千余のメール読者と郵送読者合わせ、5千余、立派なメディア。様々な情報が行き交う。全共闘50周年では、全国のかつての仲間達に呼び掛け、再度安田講堂に集う。25年振りに「続・全共闘白書」を刊行。思いがけなく得た利益で、識者の協力を仰ぎその感想本も出版。本郷の拠点とネットワークがここでも役立つ。

妻は老人ホーム住まいで独居老人の身だが一人ではない。様々な仲間がいる。「おらはおらで、みんなでいぐも」！人生、至る処青山あり。子育てから解放住宅の心配も無くなれば、年取るのも悪くないと時に思う。終りの期は来るが、悔いのないよう限りある刻を

有意義に楽しく使いたい。「万人は一人のために！一人は万人のために！」、安田砦の白壁に墨書された、青春の志を胸に秘めて。

物好きにも手を上げた江見のリゾートマンションの隔月土曜日の理事会、2 時半開始で日没まで続く。自転車には乗れず。近くの居酒屋桜で馬刺とキャベツ、肉豆腐ともつ煮で生ビール3杯、いい気分。日曜朝、館山方面、道の駅ローズマリー公園まで、往復2時間近くペダルをこぐ。金曜日、有楽町のビックカメラで買ったパッド付6千円のパンツをジーパンの下にはく。尻の皮が分厚くなったせいかな？尻の痛さは余り気にならず。

◎伊丹空港にも井水利用専用水道

長年🍀がお手伝いする電源開発の井水利用専用水道が伊丹空港にも導入された。電源開発のリスクと費用で深井戸を掘り、電源開発の費用で、膜濾過などの浄化設備を設置、安く浄水を供給させて頂く。お客様はリスクと費用なしで、水源を二重化、災害時にも浄水を確保、事業継続性（BCP）を高め、水道代を節約出来る。伊丹では水道水の50%、170,000m³を井水に切り替え、水道代を年間3,300万円削減。受水槽に10個の蛇口を設け、災害時に水道が止まった時も空港機能を維持、近隣住民にも浄水を供給出来る。

国家公務員共済組合（KKR）虎の門病院に、東大入学が2年下（S43年）、全共闘世代の大内前院長を訪ねる。東大病院副院長時代、井水利用専用水道システムを導入して頂く。KKRでは同学の後輩松本理事長のご尽力も頂き立川病院などに同システムを導入。井水利用専用水道システムのメリットを十分ご承知。東大名誉教授でもある大内先生に、東大の教え子やお知り合いの方がいる病院のご紹介をお願いします。

ただでさえ病院の経営は大変、コロナ禍で更に大変。台風や集中豪雨による土石流、震災で水道がストップすることも。3百床程度以上の規模で水道使用量が多くないと経済的メリットが少なく、自治体による規制もあるが、電源開発の井水利用専用水道を導入水源を二重化出来れば、リスクと投資なしで病院は経費を削減出来災害時も安心、人助けになる。ほとんどの国立大学病院で導入して頂く。🍀は東大病院と東大医科学研究所にも導入して頂き、年間計4千万円水道代を削減。母校に毎年4千万円寄付していると嘯く。

商業施設や飲食店の入る複合ビル、ホテルなど水を大量に使用する施設でも導入して頂くと大きなメリットになる。伊丹空港のように蛇口を沢山付け、災害時に近隣住民にも浄水を供給、地域にも貢献出来る。興味のある方は🍀にご一報を！

◎珍事と惨事！生き様が死に様を決める。どこでも、いつでも楽しむ！

散る紅葉にももの憐れを感じる季節、台風14号の雨の中、2週続け老人ホームへ。袖振り合うも他生の縁、施設に入っても捨て置く訳にいかず。長袖の下着や厚地のスラックス、マスクその他、差し入れて面会。妻の両親は一人娘が東京に拉致され、田舎の特養の四人部屋で各々最期を迎えた。我が祖母は脳溢血で倒れたまま、入る施設もなく、家の片隅で長いこと寝た切り。遡れば檜山節考の姥棄ての世界、小学校の校庭で巡回映画に涙した。戦後70年、日本経済が高度成長を遂げ、国民の求めに押され、不十分とは言え、国民皆保険、皆年金、ようやく介護と子育ての社会化まで進む。

老人ホームに一生居るの？と言われると返す言葉もないが、老々介護は限界。子供にも頼めず。ヘルパーさんに24時間介護して貰うことも出来ない。他に選択肢は考えられず。

15 平米、10 畳弱の、空調完備、車椅子仕様のウォシュレット付トイレ、温水の出る広々洗面付個室にテレビを持ち込み、入浴も週 2 回、3 食昼寝付。リハビリやイベントもあり色々忙しいという。入所時 10 人ほどだった入居者も 3 ヶ月で百人を越え、立派に「社会」が成立。人間至る処青山あり！何時、如何なる処でも楽しむという訳に行かないか？畳 3 枚ほどの独房に足掛け 3 年閉じ込められても、意気軒昂と読書に励む若者、余命半年のガン病棟でも、パソコンと携帯を持ち込み仕事や読書に勤しみ、大部屋で各々のガンを活きる者の人間観察を楽しむ親爺。生き様が死に様を決める。

久し振り青空が広がるゴルフ日和の日曜、小川カントリーの午後の最初のホール、仲間の 2 打目、ふらふら上がったボールが松の木の枝に乗り落ちて来ない。傍でプレーする、ボール目がけクラブを投げ上げるが、松の枝に載って落ちてこない珍事。翌週土曜日夕、鴨川方面に 1 時間ほどサイクリング。翌朝館山方面へ。千倉の漁港まで走る。往復 3 時間。マンションまで少しの所で、浜辺の砂防堤へと急坂を渚に向かいターン。往路は 21 段変速のギアを一番軽くしても急過ぎて登れず、自転車を押して登った急坂。曲がり切れずゆっくり倒れていく。コンクリには刷毛で滑り止め。大根おろしできるように顔が摩擦していくんだ！と不思議に頭は覚めている。オデコだけでなく、肘や膝も摩擦する。

◎白神素潜りツアー中止、房総の夏を楽しむ！

自粛解除で、夏休み恒例となった故郷白神巣潜りツアーを企画、足と宿を予約。娘も孫息子和と一緒に参加、同じく 5 歳、秋田で医者をする姪の一人娘の藍ちゃん、美男美女の歴史的出会いが実現すると胸踊らせる。姪から、「巣潜りツアー、楽しみにしてましたが、コロナ感染拡大を受けて、職場でまた県外への行き来、県外在住者と会うのが当分禁止になりました。院内感染予防のため、残念だけど今年はやめて、また、来年以降を楽しみにします。」とメール。夏にかけての都内での感染者数の増加を受けてか？娘の会社も自粛モード。残念ながら今年の白神素潜りツアーは中止に。

白神が駄目なら、孫達に房総の海を堪能させたい。浜辺を自転車で走る。大きく潮が引き、房総名物ヒジキが岩を覆う。潮溜りに逃げ遅れた小魚がいる筈。潮溜まりと小魚を孫達に楽しんで貰おう。試しに磯に降りる。潮溜りには案の定、逃げ遅れた小魚の群れ。深い大きな潮溜まりには逃げ遅れた河豚も。面白くなりそう。見れば 5 センチくらいの流線型の碧い背の小魚の群れがあちこちに。近づくと気配を感じてボウソウ、岩に乗り上げ銀色の鱗を光らせバタバタしているもの、細い岩の割れ目に突っ込み身動き出来ないものも。多分鰯の子。捕まえ水に戻してやる。2、3 回繰り返している内、子鰯を掴んだ手を無意識に口に運ぶ。子鰯の踊り食い。獲れたての獲物を生で食べる。臓物の苦味も落ちていく。狩猟採集の民、アイヌの血か？帰り道は雨。思いのほか強くずぶ濡れ、子鰯の涙雨か？

土曜日午後孫二人と芝浦の老人ホームに寄り、人数制限で下の子だけ顔見せ。鴨川の蔦やで小 5 の孫娘メイのため少女小説 6 冊、5 歳の和君の図鑑 (DVD) 1 冊、ハンマーヘッドのシュモク鮫 1 匹、スーパーベシアで晩ご飯の寿司とおやつを買い、4 時過ぎ江見のマンションに。海パンと水着に着替え漁港の鴨川寄りの磯へ。潮が引き潮溜まりがある訳でもなく小魚の影もない。小さなバケツと網 3 本、旗指物宜しく連ねて来た手前、岩の割れ目海草の波に揺れる辺り、当てずっぽうに網をぐぐつと動かすと透明な海老が 1 匹、2 匹。それだけでも大悦び、エビは大きくなると何になるの？と孫娘。南房総名産は伊勢海老。

両手を広げこんな伊勢海老に！と爺がいい加減なことをいうと、じゃ大きくなるまで育てる！と無邪気。網の柄を思い切りぶち当てると、ピツタリくつついたヒザラ貝も岩から剥がれる。海老と蟹は海に放し、富士山を平べったくしたようなヒザラ貝とつぶ貝は持ち帰り食べるとメイ。白神素潜りツアーの野趣溢れる経験が生きる。網を振ることさえかなわない小兵の和君、獲物はなしでも、まだ帰らないと、不漁の爺の数少ない獲物、だぼハゼの子ドンベを生きた玩具にして頑張る。自然に勝る玩具なし。食べやすいヒザラ貝だけ摘まみビール。胸が膨らみ始め、初潮もあり母親になってもおかしくない5歳違いの姉と狭いお風呂で戯れる。図鑑の付録のDVDと少女小説に夢中の孫を残し、爺は高いびき。

子供と一緒にだと朝夕のサイクリングは難しいが、上の娘に朝早くサイクリングして、9時くらいには帰るからと言い含め、5時くらいに起き、読み残しの日経を広げる。レトルトの中華丼、持参のレタスにツナ缶載せマヨネーズ、らっきょうも摘まみ、デザートに冷蔵庫のフルーツゼリー。食後のコーヒーもして、6時半に鴨川まで渚のサイクリング。片道1時間、爽やかな潮風を全身に受け、心地いい。坂道ではまめにギアチェンジ、筋肉に負荷を与え刺激。砂防堤を工事中の鴨川グランドホテルの所で引き返す。工事が終われば小湊まで行けるか？勝浦までか？想像を逞しくする。鴨川駅前のセブンで、「有酸素運動後の牛乳は筋肉に変わる」という「キン肉マン伝説」を実践、アロエヨーグルトを飲む。

持参のメロンパンと冷蔵庫のプリンやゼリーで朝食を済ませた孫達と、江見漁港の鴨川寄り、吉浦漁港の手前まで車を走らせる。前回遊んだ磯、和君お気に入りの場所。潮が引いてあちこちに潮溜り。大きな潮溜りには成長した鰯の子？の群れや小さな河豚もいるが、スピードが速く捕まらない。捕まるのはダボハゼの子のどん兵衛に海老、ヤドカリの「小物」ばかり。それでも二人は大喜び。狩猟採集民、アイヌの末裔！少し大きめのどん兵衛に惚れ込んだ和君、可愛がり過ぎて、いじり殺してしまう。今回の目玉は紫雲丹。針で刺されないように網の柄でうまく剥がしナゴミ水族館に移すが、岩から剥がして遊ばせてやろうと思っても、きつく張り付いて剥がれない。こんなに吸盤が強かったか！爺ちゃん元気でマメ、子煩悩がいい。稼ぎもあって、時間の融通も利けば尚、いい。自然豊かな環境で、「野生児」として育ち、遊びのノーハウが豊富だと更にいいと、自画自賛。

の三度目の韓国ツアー

「百済・新羅2つの文化を巡る韓国南部周遊4日間（19.3.31～4.3旅物語）(IV)

⑥資本主義の不均衡発展と失われた30年

京釜高速国道を釜山まで南下する90キロ、1時間20分のバス旅。目を覚ますと海が見え隠れ左手に108とナンバリングしたタワーマンション。一山越えると206、もう一山越えると308と棟数が増え、釜山市街に入り高速を降りても、LG107などとタワーマンション「群」。規模に圧倒される。高度成長期にかけ日本でも、三大都市圏の郊外を主に、エレベーターの要らない5階建ての集合住宅、公団住宅が住宅公団（現在の都市再生機構）によって大量に供給された。それが突然、ニョキニョキと4倍、5倍、6倍、7倍の高さに急成長した感じ。中国では珍しくないが、日本ではタワーマンションがこれほど「群生」しない。半島とは言え大陸の一部、島国の日本人と違い、韓国人の発想は中国人に近いのか？平地（と言っても結構高低差あり）が少ないのか？それとも中国人同様、「一気に！大量に！追い付き！追い越せ！」が好きな、過激な？国民性の為せる術か？

超高層「団地」の並木が全て桜でまさに満開。韓国第2の都市釜山の人口は350万人。朝鮮戦争の時、北朝鮮と中国の連合軍に半島の南端にまで追い詰められ、一時韓国の首都に。30万人の人口が一気に300万人に。標高600mまでバラックを建てて住む。その住宅も高齢化、空屋化、再開発の話も出る。改修して文化村として再生、人気だという。市街に入るとピンクの桜と赤いツツジと一緒に咲く。ここでもDADON505まで刻印したマンション群。82階建てが最高だというのが、101階建てを建設中とのこと。高度成長期にかけ日本人も「世界一」の手前！？「東洋一」が大好きだったが、完全に韓国にお株を奪われた。裏返せば今、韓国がそのステップにあるということか？日本の高度成長期、「東洋一の」ライバルはアジアに少なかったが、日本に続くのは韓国だけではない。台湾、香港、シンガポールも高度経済成長を遂げ、巨大な凶体の中国が猛烈な勢いで追いかける。タイやマレーシアも負けじと競争。今や「東洋一」の「荣誉」を手にするのは大変。インドネシアやフィリピン、ベトナムなど後塵を拝するその他の途上国も続くことが出来るか？レーニンが「帝国主義論」で展開した「資本主義の不均等発展」論そのままだ。

89年にベルリンの壁が崩れ、冷戦体制が崩壊。グローバル市場が実現することで、安く優れた労働力が大量にある東アジアと東南アジアに、我先にと世界の資本が殺到。これらの地域は世界の工場と化した。格差の拡大を伴いながらも国民の所得が向上、市場としての魅力も高まり、更に経済発展。その変化について行けない日本は今や、「失われた30年」に沈む。日本の高度成長期、低成長に沈むかつての覇権国家「大英帝国」をレーニンの「資本主義の不均等発展」論そのままだと、冷ややかにみ、「全世界を獲得するために！」と学生運動に猪突盲進したが、今や世界中が低成長に沈み、資本主義の終焉も言われる。その先に何があるのか？

⑦世界に冠たるウォシュレット！カジノで強制自由行動！

今回のツアー、スタンダードとプレミアムの二種類あり、プレミアムコースのホテルは釜山最初の見学地海運台の手前にある。先に真新しい豪華な超高層ホテルにチェックインする。ずっとバスで走り詰めだったので、連れションさせて貰うことに。石張りの広々としたレストルームにはなんと、世界に冠たる日本の発明品ウォシュレット！海外で初めて発見。東南アジアや中東にある、壁から突き出た水栓から蛇腹やゴムのホースが伸び、先端のノズルを開けたり、閉めたり調節しながら、自分でお尻を水洗いする手動式ウォシュレットとは違う、ボタンを押すだけの全自動式、正真正銘のウォシュレット。

海雲台は韓国一の海水浴場、夏の休暇シーズンには全国から百万人余りの避暑客が殺到する。高層のリゾートマンションやホテルがここでも雨後の竹の子のように林立。約1.8キロの砂浜、シーズンには8千本のビーチパラソルが林立、ギネスブックにも載るほどだが、今は見晴らす限り続く砂浜に、空しく波が打ち寄せるだけ。メイと浜辺で寄せては返す小波と戯れるが、旅先では濡れる訳にいかない。必死に波と駆けっこ。

海運台の後はカジノ体験の筈が未成年者は入場禁止。50分後に入口に来るようにと強制自由行動。折から日本でもIR（統合型リゾート）という名のカジノ解禁が問題に。覗いて見たかったのだが。外貨獲得を目的に半世紀以上前にカジノ解禁の韓国。韓国人は遊ぶことが出来なかったが、2000年に出来た江原ランドでは韓国人も遊べる様になり、韓国人が遊べない他の16カ所の外国人専用カジノの売上合計よりも江原ランドの売上の方が多い。

利用者の99%が韓国人、日本のIRも目指す外貨獲得やインバウンド効果にはつながっていない。おまけにギャンブル依存症に陥る国民が増えて問題に。豪華なロッテホテルの3階がカジノ、1階がフロント。カジノ見学から閉め出され、休める場所があるかと下に降りる。ようやくみつけた小さな長椅子2つには先客。ホテルの周辺を孫娘とブラブラ。アイスクリームとカップケーキのあるカフェでカップケーキを買って持たせ、時間稼ぎ。

ブランド店やカジノ、免税店などの入る華やかなホテルの脇の路地にはビニールで覆った飲食の屋台が列をなし、昼から営業する屋台も。競争が激しい韓国、小さい頃から塾通い、受験競争に打ち勝ち有名大学に入っても、サムスンやLG、ロッテなどの財閥系大企業への入社は狭き門。入社しても競争が激しく、優勝劣敗で定年前に止めざるを得ない者も多いという。屋台もその受け皿の一つか？大卒の就職率が悪いので、日本の大学に留学、日本企業への就職を目指す若者も多い。仲間と利用する飯田橋の居酒屋で、ママと一緒にフロアで働く女の子も、代々韓国からの留学生。カジノ組と合流、8階の免税店へ。カルチェだ、フェンジだ、SKⅡだと、二人には無縁のファッションとコスメの世界。トイレの手前の休憩スポットに陣取り、ここでも携帯で旅行記する爺。メイは少女小説に夢中。

⑧ガムと財閥・誰か故郷を思わざる！

日本でガムを売りまくって稼いだ巨額の金を韓国に運び、日韓国交回復を機に韓国に進出、今やグループの売上の9割以上が韓国というロッテ。韓国では有力財閥のロッテだが、日本では菓子やプロ野球、ハンバーガーのロッテリアぐらい。日本と違い、ロッテ百貨店、ロッテホテル、テーマパークのロッテワールドを中核とし、サービス分野を中心に化学などの製造業まで事業分野が多岐にわたる一大財閥の韓国ロッテ。「韓国で稼いだ金は一度も日本に持っていくことはなかった」と誇る創業者の重光武雄（本名辛格浩）、長男の重光宏之（辛東主）、次男の重光昭夫（辛東杉）はいずれも韓国籍だが、晩年に事業継承を巡って内紛が勃発。韓国事業を統括する次男が創業者と兄を放逐し決着。故郷に錦を飾り、得意満面だった筈の創業者は失意の内に最近亡くなる。胸中如何ばかりだったか？

ロッテホテルを出て、南の市場近くの海鮮料理屋に向かう道中、夜若者が集まる飲食店が集中、ホテルもある。日本の居酒屋やホテルがありますとガイドに言われバスの外を見ると「ソラリアホテル」、西鉄さんのホテル。日韓は近い。夕食は市場の近くで海鮮鍋。穴子の刺身やホヤなどもよく食べるという。福島原発事故の前は三陸産のホヤが韓国によく輸入されたが、原発事故を機に輸入禁止となり、現在も輸入禁止が続く。三陸の漁業者は困っているという。夜の街に街灯が少なく、街が暗いのは北朝鮮との戦争状態が継続、「灯火管制」が続くからか？車のライトが頼もしい。

4日目の最終日、4月3日は朝食の後、バスで市内観光。釜山に来て行かない人はいないという有名な観光スポット龍頭山公園に。釜山は二度目だが、初訪問。前日も訪れたのかも知れないが、全く記憶にない。龍頭山公園は釜山南部の繁華街南浦洞（ナンポドン）に隣接、龍頭山という丘の上にあり、商店街からエスカレーターでも登ることが出来、公園を一周すると釜山港や景観のいい影島などをぐるっと見渡せる。120mの高さの釜山タワーに登ると、市街を360度一望出来る。タワーの足元には文禄・慶長の役で朝鮮水軍を率い秀吉軍と戦い活躍、救国の英雄とされる李舜臣の巨像がそびえ立つ。

朝鮮王朝後期（江戸時代）にこの山を含む一帯は1678年に開館された倭館（草梁倭館）

の敷地。周辺に 500 人以上の日本人が移住、対馬藩と李氏朝鮮の交易に従事。各々の国の鎖国時代もしっかり商売。1877 年の日朝修交条規で朝鮮が開国、釜山が開港した後は日本人居留地となり、交易、外交の拠点となった。倭館時代に社が立てられ、後に龍頭山神社となる。公園の一隅に倭館を記念する石碑。龍頭山公園は地元住民の憩いの場でもあり、老人があちこちで盤を囲み将棋をしたり、碁を指したり。日本を追いかける超高齢化社会の、元気な老人の溜り場。タワー1 階の土産物屋で趣味の magnet を買う。空港への途中で食料品の免税店に寄らされ LCC で帰る。成田まで 2 時間、近くて遠い日本と韓国。(完)

◎11 月 (第 4 回) 三鷹寮生オンライン交流会

11 月 28 日 (土) 6 時半三鷹寮生と第 4 回オンライン交流会。東大に入ったのにコロナで授業はオンライン、駒場のキャンパスにも入れず、クラスやサークルで仲間と交流、切磋琢磨することも出来ない。寮で対話し議論を深めることも出来ず。着ていれば寮生と分かるように OB の寄付を募り、MSC (自治委員) の皆さんと「みたかはみかた、三鷹寮」の T シャツをつくり希望者に無料配布。思った以上にカンパが集まり、「寮生同士の交流を更に深めよう！」と、8 月から月例でオンライン交流会を開催。

4 回目となる今回は、1967 年入寮の小島敏郎さん (愛知旭丘高校、文 I、法、●の後の寮委員長) が簡単に基調のお話し。環境庁での霞が関生活、クールビズでの小池大臣との出会い、青山学院教授・弁護士への転身、小池都知事誕生による、東京都顧問から都民ファースト政調事務総長としての都政への関わり、地球温暖化の話など色々。

寮生の皆さんには、予め三鷹クラブ負担で、かっぱ寿司とゼンショウ傘下の和食レストラン華屋与兵衛の食事の個別配布 (持ち帰り) を手配。

参加者は柴田卓巳 (2016・文 III 教養・学際科学科地理・空間コース 4 年・東葛飾)、Dhruv Iyer (2019・理 I・ムンバイ)、田名部琉 (2019・文 II・嵯峨野)、出水小春 (2020・理 I・四天王寺)、金高青葉 (2020・文 II・旭丘)、栗原柁由 (2020・理 I・岡崎)、桑原秀彰 (2020・文 I・札幌南)、下村信雄 (2020・文 I・六甲学院)、関戸悠真 (2020・理 II・仙台第一)、富張聡祥 (2020・理 I・高崎)、平井雄基 (2020・理 II・出雲)、弓矢基貴 (2020・文 II・Lafayette High School (アメリカケンタッキー州))、OB が國枝明弘【春風亭昇吉】(2003・文 II 経・経営・岡山城東)、田中清文 (1976・理 I 教養・基礎科学科・甲陽学院)、川口幸男 (1970・理 I 工・資源開発工学・旭丘)、松沢陽一 (1968・理 I 工・航空・高岡)、小島敏郎 (1967・文 I 法・旭丘)、高見邦雄 (1966・理 I 中退・米子東)、夏目雄平 (1966・理 I 理学系院物理・長野)、三国丘● (1966・文 I 法・能代)、井原正登 (1965・理 I 工・産業機械・長野)、打林國雄 (1965・理 I 工・都市工・富山中部)、辰紘 (1965・文 I 教養学・教養・国際関係論・三国丘)。

◎結びに代えて・・想定外の余生を共に！

コロナの年も降雪遅く、初滑りは年明けか？と思うが、12 月半ばにドカ雪。74 才の誕生日、26 日の初滑りは新幹線で越後湯沢か？「革命」のためにはいつ死んでもいいと思っただ青春時代、ここまで長生きするとは！しかも家庭を持って。想定外の余生をどう生きるか？「人間は類的存在！」、「一人は万人のため、万人は一人のために」！故郷の貧しさに涙した青春の志を多少とも胸に、体も鍛え、少しは人のため役に立てればと思う。再見！